



板硝子協会 主催

国際ガラス年2022 建築ガラス 記念講演会

11.28 MON
13:30-17:10

会場:ベルサール三田



国際ガラス年2022を記念し、
板硝子協会主催の記念講演会を実施いたします。
今後、地球温暖化に伴う気候変動により、
さらに頻発・激甚化する災害に関して
ガラスの機能や技術で
人々を救い、より快適に過ごせるように、
また、知見を深めてもらうためにも
各先生方による講演を準備しています。



■タイムスケジュール

13:30 ~	開始	
13:30 ~ 13:40	主催者挨拶	
13:40 ~ 14:40	ガラスのリサイクル —EUの事例から日本の今後を考える—	清家 剛 先生
14:45 ~ 15:25	ガラスの強風被害とその対策	丸山 敬 先生
15:35 ~ 16:15	建築とガラス	井上 朝雄 先生
16:20 ~ 17:00	木とガラスのコラボレーション	安井 昇 先生
17:00 ~ 17:10	閉会挨拶	

※プログラムは変更となることもございます。 ※最新情報は下記板硝子協会HPでご確認くださいようお願いいたします。

■講師紹介 (講演順)



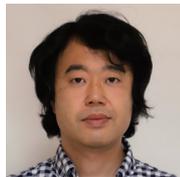
清家 剛 先生 東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 教授

1964年徳島県生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。耐震性の分野では、兵庫県南部地震の被害調査報告を多数行うとともに、建設省の耐震構造計画基準等、非構造部材に関連する基準類の制定、改正に参加している。また、学会、国土交通省などで窓やカーテンウォール仕様書作成に関わっている。現在は東京大学の新しい大学院である環境学専攻に所属し、改修・解体技術やリサイクル技術等を研究している。環境影響評価ツールCASBEE住宅版開発の委員長等もつとめている。



丸山 敬 先生 京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門 耐風構造研究分野 教授

1958年大阪府生まれ。京都大工学研究科建築学専攻を修了。学生時代はグライダー部に所属し、その頃から風に慣れ親しみ、強風下における構造物周りの気流・風圧性状、飛来物の飛散・衝突特性、構造物が被害に至る物理的過程を風工学的見地から研究し、被害発生による影響評価、効果的な減災手段の提案などに取り組んでいる。



井上 朝雄 先生 九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授

1974年東京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。社会基盤(土木・建築・防災)、建築計画、建築史を研究分野に国内のみならず中国・インドなど海外に関する建築分野の研究報告を多く報告。また、学会、国土交通省などで窓やカーテンウォール仕様書作成に関わっている。



安井 昇 先生 桜設計集団一級建築士事務所 代表

1968年京都府生まれ。東京理科大学大学院修士課程修了後、積水ハウスを経て、1999年桜設計集団一級建築士事務所設立。木造建築の設計をしつつ、木造耐火に関する研究、技術開発、コンサルティングを多数行う。「堀切の家」にてウッドデザイン賞2016 林野庁長官賞を受賞。現在は東京大学生産技術研究所特任研究員、NPO法人Team timberize理事長なども務める。

日時 **2022.11.28(月) 13:30~17:10**

会場 **ベルサール三田** 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館1F ※駐車場のご用意はございません。

定員 ●会場/120名 ●ウェビナー/1,000名

※いずれも先着順。各定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加費 **無料** 要事前申込み

申込先 **板硝子協会HPからお申し込みください** <http://www.itakyo.or.jp/>

